

## E 分科会：『少年期におけるスポーツの楽しさとは』 - 指導者と子どもの心をつなぐ -

子どもたちにスポーツの楽しさは何かと聞けば、「試合に勝って指導者に褒められた時」と答える。勝つ喜びが、楽しいスポーツ活動の結果なのか、それとも勝利至上主義の産物なのか、楽しいスポーツ活動はどうあるべきか、子どもたちに楽しいスポーツと出会い実感させ、将来への飛躍の足がかりとなる基礎をつくるためにはどうすべきか等について報告・協議された。

具体的には、競争的スポーツの楽しさについて触れ、すべての子どもたちがゲームに出る楽しさを味わう、すなわちレベル・学年別リーグ戦などの開催の必要性や、勝利至上主義と勝利主義の違いについて報告するとともに、色々な考え方を持つ子どもたちにどう対応していくか、子どもや親とのコミュニケーションを図ることの大切さなどが指摘された。また、スポーツ少年団で行うべきスポーツは「競技」か「健康」か「あそび」かについて、子どものスポーツは本来あそび、子どもの意識に応じて活動することが必要であり、小人数の場合は合併・総合型での展開が必要であるとまとめた。